

2011年度

科目名	教育実践研究Ⅰ				
担当教員	松田 晃				
配当	専攻1		コード	80030	
開期	集中前期	講時	集中0限	単位数	1
授業テーマ	教員としての「学級」「授業」「人間関係」等の育成力を身に付ける。				
目的と概要	教員は、自らの豊かな人間性をもとに、学校教育活動の全体を通じて「人づくり」を目指すことを使命とする。これは託された「児童・生徒の育成」並びに「学級・授業・人間関係づくり」を完遂する教育活動である。そのためには教員自らの社会性、対人関係力、コミュニケーション力、ネットワーク能力等が不可欠であり、強い教育推進の力量が求められる。ここでは「学級・授業・人間関係づくり」の要諦について研修し、実践活動等を通じて「教育指導の実践力」を培う。このことを通じて教員としての基本的資質の充実を図る。				
成績評価法	(1)学習・研究姿勢・態度・実践活動・研究討議等への参加等 平常点(30%) (2)自己評価・相互評価等(30%) (3)期末まとめ(40%)等 総合的に評価・評定する。				
テキスト	・特に定めない				
参考書	・教職概論・佐藤晴雄・学陽書房 ・その他講義資料・学習資料を適宜紹介・供与する				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	教育活動を実践するフィールド・学校園等を予め確保するよう努力すること				
講義計画					
Ⅰ. 学校が学生ボランティアに期待するもの 1. 教師の社会体験(異職種体験・異業種間交流)の必要性 2. 求められる異業種間交流 3. 教師の社会体験研修と学校支援ボランティア 4. 学校支援学生ボランティアへの期待と役割 Ⅱ. 学校支援ボランティアへの期待 1. 学校教育支援ボランティアの捕らえ方 2. 学校教育支援ボランティアで求められているもの 3. 学校教育支援ボランティアをする者としての心得 Ⅲ. 学校が行っている社会体験活動 1. 小学校における社会体験活動の実践例 2. 中学校における社会体験活動の実践例 Ⅳ. 「学級」「授業」「人間関係」の育成力を培う為の実践的研究・研修種々のボランティアへの参加等を通じて教育的実践力等を育成する実践研究・活動 Ⅴ. 学校教育支援ボランティア等教育実践に参加して 1. 参加・活動等についてまとめる 2. 参加・活動等をまとめ、報告・研究討議等 Ⅵ. まとめ・討議を「学級」「授業」「人間関係」づくりに活かす(教育小論文の執筆も視野に) 1. 実践研究・活動を学級づくりと人間形成力に 2. 学級集団と学習集団の包摂関係 等を踏まえて ◎ 授業の進め方 A. 担当教員による講義 B. 体験的学習・課題研究(学習・課題調査研究・レポート)報告 C. 演習・報告会 (パネルディスカッション・ディベートによる研究討議等) D. 教育小論文の提出					